

英語科学習指導案

授業者
指導教員

日時 2023(令和5)年 6月 9日
3限 10:40~11:30
学級 第一学年 7組
教材名 「BLUE MARBLE English Communication I (数研出版)
Lesson 3 Part 3 (教科書 p. p. 42-43 ノート p. p. 28-29)
科目 英語コミュニケーション I
場所 1-7 教室

1. 授業観

(1) 教材観

本教材は、教科書と書き込み用のノートに分かれており、それらを照らし合わせて扱っていく必要がある。特に両教材の右ページにはアクティビティや練習問題が載っており、それらを活用して授業の活性化を図りたい。練習問題は、単なる答えの解説ではなく、答え方や答えの探し方にまで指導が及ぶように心がけたい。教科書のほうでは、脚注に重要な表現の記載があるため、授業内でしっかりと触れる必要がある。

また、本教材は各レッスンでテーマが設けられており、本単元は「異文化理解」のレッスンである。アメリカ人女性と伝統舞台芸術について読むことで、異文化と伝統とを結びつけて、理解を深めることが求められる。特に舞台芸術については、区別がつけ難い部分があるため、講談と落語の違いなどを明確にさせておく必要がある。

本時で扱う文は、本単元の主人公である旭堂南春が抱く、講談をする上での課題について述べられている。文章の具体的な部分と抽象的な部分を見極めることで、南春が抱える課題を整理し、要約できるようにしたいと考える。また、そこから生徒自身が、言語学習において抱える課題を見つめなおすよう、発問を工夫し、メタ認知能力の発展につなげたい。

(2) 生徒観

1年7組の生徒は、教員からの指示が通りやすく、真摯に授業に取り組むことができる一方、消極的な雰囲気が課題だと捉えることもできる。教員の問いかけや興味のひき方によっては活発な授業も期待できるため、発問を工夫したい。例えば、アクティビティを行う際に、生徒同士で競争させたりすると、積極的に取り組む様子がこれまでの授業で見られた。単語定着のアクティビティの際などにこれを活用したい。また、先日席替えをしたばかりで、生徒同士の新しい繋がりが期待できるため、積極的にペアワークを取り入れたい。

既習パートで旭堂南春及び講談への理解が見られたため、本時でより異文化理解について考えるきっかけを与えたい。よって、留学生を中心に、第二言語習得の壁について考える時間を設けることとする。これにより生徒は、メタ認知による学習の見直しを練習することができる。自分のこれまでの学習を振り返り、目標に向けて計画の練り直しをする能力は、学年が上がるにつれ、必要不可欠となっていく。そのため、授業の段階から自分の学習について振り返る習慣を身につけさせておきたいと考える。

(3) 指導観

読解の授業では、本文の内容を把握させるだけに留まらないことが重要だと考える。教科書本文を通して、ほかの長文に出会ったときにも役立つスキルを身につけさせる必要がある。そのスキルとは、行間を読み取り、筆者(話し手)の伝えていない情報を予測する力、文章を段落ごとに整理して、次の段落とのつながりを考える力、文章の具体的な部分及び抽象的な部分を把握し、読むスピードなどを調節する力である。これらの能力を授業の中で養うための場を与え、未知の長文でも読み解いていける力を身につけさせたい。

また、本文の題材を通して、それに関する身の回りのことについて考え、他者と考えを共有することも重要である。本単元の場合、異文化理解や伝統文化が題材であり、とくに伝統については生徒が身近に感じにくいものだと予測できる。そのため、生徒の身の回りに在る異文化や長い歴史を持つものと関連付けさせ、親近感を持たせたい。以上のように教科書本文から、どのような資質・能力を身につけさせるのかを熟考し、授業に落とし込んでいきたい。

授業内の指導では、いかに生徒の主体性を引き出すかが重要だと考える。教員が主体的な活動を強要すると、それはすでに受動的だと言える。生徒にはあくまでサポートという形で接し、干渉しすぎることなく、主体的に学習に取り組ませていきたい。それは、授業内の細かな指示から工夫できることである。「これを求めよ。」というのではなく、「ここに違和感がある。」と話題提供をする形で発問すれば、生徒は自ら疑問文を生み出し、答えを探し始める。このように教員の聞き方ひとつで授業が大きく変わることを肝に銘じておきたい。

2. 単元目標

【知識・技能】

- ・新出単語及び新出表現を理解しており、それらを正しく使いこなす技能を身に付けている。
- ・助動詞や受動態を含む表現を理解し、コミュニケーションの場で活用する技能を身に付けている。
- ・本文の必要な情報を聞き取ったり、読み取ったり、自分の考えを伝え合ったり、話したり、書いたりする技能を身に付けている。

【思考力・判断力・表現力】

- ・本文の内容を聞いたり読んだりして、情報や主張の要点、詳細、及び話し手や書き手の意図を理解している。
- ・講談と旭堂南春について、自分の考えや気持ちを論理的に整理し、適切に伝え合ったり書いたりしている。

【主体的に学習に取り組む態度】

- ・本文の内容を聞いたり読んだりして、情報や主張の要点、詳細、及び話し手や書き手の意図を理解しようとしている。
- ・講談と旭堂南春について、自分の考えや気持ちを論理的に整理し、適切に伝え合ったり書いたりしようとしている。
- ・ペアでの活動などを通して、積極性や思いやりをもち、主体的で自律的なコミュニケーションを図ろうとしている。

3. 単元の指導計画 (全5時間)

時	学習内容
第1時	Lesson 3 導入及び part 1 (Who is Nanshun?)
第2時	Lesson 3 part 2 (What attracted Nanshun to kodan?)
第3時 (本時)	Lesson 3 part 3 (What challenged Nanshun in performing kodan?)
第4時	Lesson 3 part 4 (What is Nanshun's message?)
第5時	Lesson 3 まとめ

4. 本時の目標 (全5時間中 第3時)

- ・他者が抱えている課題を自分のことに置き換えて整理できる。
- ・自分の苦手なことを把握して他者に開示し、共に解決策を講ずることができる。

5. 評価基準

A 知識・技能	B 思考力・判断力・表現力	C 主体的に学習に取り組む態度
新出単語や表現、及び助動詞などを理解して正しく使いこなす、必要な情報を聞き取ったり、読み取ったり、自分の考えを伝え合ったり、話したり、書いたりすることができる。	講談と旭堂南春について聞いたり読んだりして、情報や主張の要点、詳細、及び話し手や書き手の意図を理解し、自分の考えや気持ちを論理的に整理し、適切に伝え合ったり書くことができる。	講談と旭堂南春について聞いたり読んだりして、自分の考えや気持ちを論理的に整理し、ペアワークなどで積極性や思いやりを発揮して、主体的で自律的なコミュニケーションを図ろうとしている。

6. 本時の展開 (50分)

時間	学習内容・活動	留意点	評価
導入① 1分	あいさつ 本時の目標・流れを伝える	目標・流れを明示することで、生徒がそれらを意識して学習に取り組めるようにする。	—
導入② 3分	前回・前々回の復習	各パートに関する質問をすることで、生徒が自動的に前回の内容を読み直すことができる。 ペアで話し合わせる。	B
展開① 10分	新出単語およびフレーズの確認 単語理解度チェック ナビゲーションノート④答え合わせ	発音・アクセント・品詞・意味の確認 ※特に「various」の発音に注意 ペアと単語を5個ずつ出し合い、終わったペアから座る。その後全体で確認。	A

展開② 5分	読解パート	文章へのしるしの入れ方、段落ごとの整理の仕方、具体/抽象の明確化、その他文法事項などについて、既習単元を参照しながら細かく指導する。	B
展開③ 5分	文章の整理 Logic Flow メインクエスチョン	表を使って文章を要約する。 ※三つの「課題」を明白にする。 生徒 (個人→ペア) で考えさせ、答えてもらう。	B
展開④ 5分	音読 (省略の可能性あり)	感情を込めて読む (声のトーン、表情、ジェスチャー、相槌) →パフォーマンス心理学に基づいた活動	C
展開⑤ 5分	Your Opinion	ここがメインポイントだと伝える。 生徒のコミュニケーションに制限がかかりすぎないように、日本語混じりの英語を許可する。ただし、使った日本語をメモし、後で英語を調べるよう指示する。	C
まとめ 1分	ホームワークを伝える 次回について触れる あいさつ	宿題 (Lesson4 Task1 及び Vocabulary) はメモをさせるなど確実に伝える。	—

7. その他の留意点

- ・説明が多くなりすぎないように、逐一生徒に話させる。生徒のリアクションをしっかりと確認する。
- ・生徒の発言には肯定的な反応をし、成功体験を与える。
- ・統合的な授業ではなく、リーディングに的を絞ることで、確実に力をつけさせる。
- ・即興性、創造性を身につけさせるために、発話の意図や感情を読み取ることを意識させる。
- ・要約する力を養うことで、コミュニケーションの場で必要となる脳内で整理する力を発達させる。
- ・教科書本文を理解させるのにとどまらず、それを通して読解に必要なスキルを伝える (行間を読み取る力、文章整理、具体/抽象の把握)。



What challenged Nanshun in performing *kodan*?

Interviewer: ¹Are there any difficulties in performing *kodan*?

Nanshun: ²Of course. ³As an English speaker, there are various challenges. ⁴Some Japanese sounds like *rya/ryu/ryo* were especially difficult. ⁵I used to practice *kodan* loudly in a karaoke box so that I could master these sounds. ⁶Also, sometimes it's hard for me to understand old Japanese. ⁷One time, I couldn't express the nuance of *ifu-rin'zen*. ⁸Even after I learned the meaning in English, it was still very hard to deliver. ⁹So, I must learn more about Japan and the Japanese language.

Interviewer: ¹⁰That makes sense. ¹¹What do you think about performing for Japanese audiences?

Nanshun: ¹²They are wonderful, but sometimes it is challenging to know their feelings. ¹³I usually need to make adjustments for each performance according to their mood. ¹⁴If they are relaxed, I can perform freely. ¹⁵However, if they are a little shy, I have to work much harder to bring them into my world.

various
/vɪəriəs/
used to
/ju:stə/

nuance
/n(j)u:əns/

deliver
/dɪlɪvə/

adjustment
/ədʒʌstmənt/
according
/əˈkɔ:rdɪŋ/
mood /mú:d/
relaxed
/rɪlæksɪd/
freely /fri:li/

Listening Quiz (1) T / F (2) T / F (3) T / F

Notes

⁷ *ifu-rin'zen* 威風凜然 (威厳があり、りりしい様子)

Key Phrases ⁵so that ... ¹⁰make sense ¹³make adjustment ¹³according to ¹⁵a little

Key Language ⁵used to do

LOGIC FLOW Fill in the blanks below to complete the outline.

Nanshun's difficulties in performing *kodan*

- 1. as an (^a) speaker
 - Japanese (^b) Ex. *rya/ryu/ryo*
 - she practiced *kodan* in a karaoke box
 - (^c) Japanese Ex. the nuance of *ifu-rin'zen*
 - she must learn more about Japan and the Japanese language
- 2. Japanese audiences
 - wonderful
 - sometimes challenging to know their (^d)
 - make adjustments for each performance according to their (^e)

TASK 1 Answer the questions. Check your answers with your partner.

- (1) What Japanese sounds were especially difficult for Nanshun?
- (2) What does Nanshun think she must do to understand old Japanese?
- (3) What does Nanshun think about Japanese audiences?
- (4) If audiences are a little shy, what does Nanshun have to do?

TASK 2 Describe the pictures below to your partner.

(1)
Nanshun used to ...



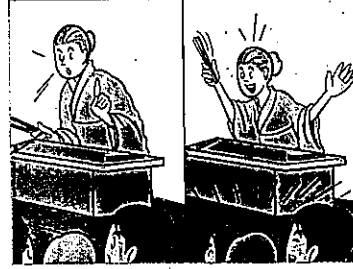
[*kodan*, karaoke box]

(2)
The nuance of *ifu-rin'zen* ...



[hard, deliver]

(3)
Nanshun needs to ...



[adjustment, mood]

Your Opinion

What English sounds are difficult for you?



Interviewer: ¹Are there any difficulties / in performing *kodan*? //

Nanshun: ²Of course. // ³As an English speaker, / there are various challenges. // ⁴Some

Japanese sounds / like *rya/ryu/ryo* / were especially difficult. // ⁵I used to practice *kodan*

loudly / in a karaoke box / so that I could master these sounds. // ⁶Also, / sometimes

it's hard for me / to understand old Japanese. // ⁷One time, / I couldn't express the

nuance of *ifu-rin'zen*. // ⁸Even after I learned the meaning in English, / it was still very

hard to deliver. // ⁹So, / I must learn more about Japan / and the Japanese language. //

Interviewer: ¹⁰That makes sense. // ¹¹What do you think / about performing / for

Japanese audiences? //

Nanshun: ¹²They are wonderful, / but sometimes it is challenging / to know their feelings. //

¹³I usually need to make adjustments / for each performance / according to their mood. //

¹⁴If they are relaxed, / I can perform freely. // ¹⁵However, / if they are a little shy, /

I have to work much harder / to bring them into my world. //

A Words & Phrases

① Look up the words and phrases in a dictionary.

※音声は太字のみ

- | | |
|---|---|
| 3 various /vɛəriəs/ <input type="checkbox"/> | 13 make adjustment /ədʒʌstmənt/ _____ |
| 5 used to /ju:stə/ <input type="checkbox"/> | according /ə'kɔ:rdɪŋ/ to _____ |
| so that ... _____ | mood /mu:d/ <input type="checkbox"/> |
| 7 nuance /n(j)u:əns/ <input type="checkbox"/> | 14 relaxed /rɪlæksd/ <input type="checkbox"/> |
| 8 deliver /dɪlɪvə/ <input type="checkbox"/> | freely /fri:li/ <input type="checkbox"/> |
| 10 make sense _____ | 15 a little _____ |

② Write the word from the text to match the meaning below.

- | | |
|---------------------------------------|-------|
| (1) something you can hear | (s) |
| (2) a thing or an idea shown in words | (m) |
| (3) to learn a skill very well | (m) |
| (4) to dance or play music in public | (p) |

B Key Sentences Translate the sentences into Japanese.

5 I used to practice *kodan* loudly in a karaoke box so that I could master these sounds. (KE)

▶ used to doで「(以前)~したものだ」を表す。ここではso thatの後にcouldが続くので、「...できるように」。

訳 _____

8 Even after I learned the meaning in English, it was still very hard to deliver.

▶ evenは「~でさえ」という意味なので、even afterは「~した後でさえ」となる。itは前文のthe nuance of *ifu-rin'zen*を指す。

訳 _____

15 However, if they are a little shy, I have to work much harder to bring them into my world.

▶ muchは「ずっと~、さらに~」と比較級を強める。to bring~は「~するために」を表す副詞的用法の不定詞。

訳 _____

Summarize the Passage

講談を演じる上での難しさ:

・日本語の音→習得できるよう、_____。

・昔の日本語→理解できても、_____。

日本人の観客に対して演じること:

・_____ことがある。

→ _____, 毎回の公演を調整する。